

5月15日
No.209

〈人口〉
男 8,915人
女 9,102人
計 18,017人
世帯数 3,916戸



ささびたし漁

麻生の永峰晃さんは「ささびたし漁」四代目。ささびたしは、霞ヶ浦で行なわれている漁法では、もっとも原始的なものです。

ナラなどの雑木をたばね、湖水にひたし、魚が巣をかけたりやすんだところを、もち上げてさで網ですくうのです。

風のなぎている日、夫婦で出漁し、夫がささびたしを持ち上げたところを下から妻がさで網ですくいます。夫婦の呼吸が合わないと魚は逃げてしまう。新妻のころの呼吸はどうだったでしょう。

永峰さんの所では、「ささびたし」が全部で1,500個有ります。獲れる魚は、えびやうなぎ、最盛期は、秋から冬にかけてのえび漁です。この「ささびたし漁」も、漁業近代化の波には押しながら漁獲がされてしまうのでしょうか。霞ヶ浦北浦の風物詩であった帆びき舟が最盛期であった頃は約70人いましたが、帆びき船からトロールにとってかわってからは、年々減少、現在は20人を下まわりました。

原始的な魚獲法のために魚をいためず、いきの良い魚をとることができた「ささびたし」は、帆びき舟と同じように霞ヶ浦の自然に最も融合しているではないでしょうか…。



ささびたしの寿命は約三年、毎年補充をする。
五月の陽ざしをあびながら永峰さんの腕に力が入る。

これによる一般家庭のゴミ収集は各町村で実施するわけですが、厚生課で、区長さんを通じてアンケート調査をしたところ、麻生町でゴミ収集を希望する家は八百三十七世帯、ゴミの袋数にして一週間に二千五百袋、一件平均にすると三袋。町全体で、一日平均三・三トンという結果が出ました。

このゴミの収集は、町が業者に委託して行なうことになりましたので、次のことについて注意して、ゴミ収集に協力してください。

ゴミ袋は

ゴミ袋は、各おいてある指定した袋（一袋三十円）を使用してください。指定した以外の袋は収集しません。

収集場所 所は、各部落の区長さんと住民で話し合いで決めることになっています。市街地（古宿、宿、玄

収集時間 每週月曜日と二台のゴミ収集車が、次のとおり午前と午後に大別して回ります。（一号車）（午前の部）白浜、宇崎、岡、根小屋、矢幡、石神、新原、富田、中台、粗毛、小牧、新宮、天掛、籠田、板

トンコレラ発生 昭和三十四年以来、本県では豚コレラの発生は見られませんでしたが、さる四月七日水海道市に初めて豚コレラが発生しました。春から夏にかけては豚コレラ等家畜の伝染病が発生する時期です。畜舎の消毒など家畜の衛生に心がけ、飼育している豚には必ず予防注射を受けましょう。豚コレラ予防注射の申し込

5月1日に行なわれた火入式

ゴミ収集開始 5月8日より



麻生の宮川孝璗さんは、下島並の須田芳雄さんは、島並下老人クラブへ千円。島並籠田の一村正明さんは、大和第一小学校へ国旗一旒。白浜の辺田彦兵衛さんは、白浜子供会へ二千円。

〔善〕
〔意〕

麻生の大石久喜さんは、麻生幼稚園へ花びんと三千円を贈りました。麻生中学校二年三組一同は困っている人へ千二百二十五円。

